

青少幼年センターニュース

青少幼年センター

ホームページ開設中 <http://www.higashihonganji.or.jp/oyc/>

『子どものつどい in 東本願寺』道中記

晴天の四月五日、真宗本廟において開催された「教如上人四百回忌 子どものつどい in 東本願寺―東日本震災復興支援―」には、全国各地からたくさんの子どものつどいメンバーが集いました。その様子を、二つの教区の引率者にレポートしてもらいました。

東京教区

東京教区児童教化連盟では、「親鸞聖人お誕生のつどい」(親鸞聖人の誕生日にちなんで、毎年四月のはじめに日帰りで開催)を、「子どものつどい in 東本願寺」に参加するという形で、十八年ぶりに真宗本廟において開催しました。一昨年の御遠忌時期から上山しようという声が集まっていたのですが、「子ども御遠忌」ではタイミングが合わず参加が叶わなかったため、今回の『子どものつどい in 東本願寺』にあわせての上山となりました。一泊二日ということで例年より参加者は少なかつたものの、しばらく参加していなかった中学生が久しぶりに参加してくれたり、「京都へ行くなら」「本山へ行くなら」と参加してくれた子どもたちがいたことはうれしかったです。



パレードで先頭をつとめる東京教区の子どもたち

初日には仮阿弥陀堂、御影堂を参拝し、親鸞聖人ご旧跡フィールドワークとして京都市内を歩き、六角堂などを巡りました。また御影堂のお参りの折に、子どもたちが「今日は大きなお寺に来たんだ!」

と言っていたのが印象に残りました。二日目はよいよ「子どものつどい in 東本願寺」です。晴天に恵まれ、四月とは思えない日差しと暑さのなかイベント

は始まりました。始めればパレード、オープニング、法要と怒涛のごとく続き、そして遊びの「遊ぶース」&食事の「食ブース」があり、境内は大勢の子どもと大人で埋め尽くされ、笑い声が飛び交っていました。一瞬どこかわからなくなるくらいに、普段の境内からは想像できない光景でした。

「子どものつどい in 東本願寺」が終わってみて今、寂しさとともに「なんのために」どんな意味があったのか」という思いが湧いてきています。子どものためだけでなく、自分のためでもない、そこには「これのために」「こういう意味があって」と言い切れないものがあります。

この「子どものつどい in 東本願寺」に参加した皆の背景には、両親や家族、スタッフ、そして数えきれないほどの多くの方々がいまいます。私たちが京都まで来させてくれた、無数の力があって成り立っていることだろうと思います。

だからこそ、ただ「楽しかった」だけでは終われない、子どもたちと共に「楽しかった」とおして、その先にある何かをたずね、確かめていきたいと思っています。

(青少幼年センタースタッフ 稲垣和弘)

金沢教区

私たち金沢教区青少幼年教化小委員会は、このたびの「子どものつどい in 東本願寺」に団体参拝という形で上山させて頂いた皆さまでした。

二〇一一年に厳修された「子ども御遠忌」で私たちは「劇しんらんさま」を上演するブースをもちましたが、その時は地元の子どもたちと共に上山することが叶いませんでした。そして後日、スタッフの会話の中で「もしまた真宗本廟で子ども集まりがあるならば、ぜひとも金沢から子どもたちと一緒に上山したい」という願いが語られていました。今回、それからわずか二年で「子どものつどい in 東本願寺」にご縁をいただいたことをうれしく思いました。



満堂の御影堂

当日は総勢四十一名、日帰りでの団体参拝となりました。四月五日の朝、これ以上ないほどの好天に喜びながら金沢駅で集合していると、濃霧発生の為、列

車が遅れております」というアナウンスが…結局三十分遅れで京都駅に到着したため、残念ながらバレードとオープニングには間に合いませんでしたが、お勤めが始まる前には境内に入り、みんなで記念撮影。初めて真宗本廟を見た子は驚きの表情でした。御影堂内に移動し、満堂の参詣者の中での供灯供華と宣誓。そして正信偈の唱和。とても厳肅な空気に子どもたちも何か感じるものがあつたのか、はしゃぐことなくお参りをしていました。続いて酒井義一さんのお話。退屈させない語り口調と寸劇のようなやりとりで、子どもたちも引き込まれていく姿が印象的でした。

お昼になり、食ブース、遊ぶブースに

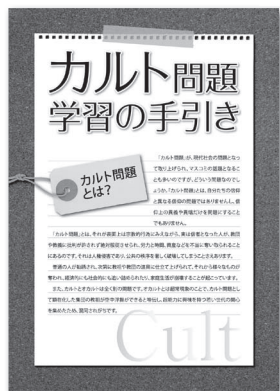
飛び出して行った子どもたち。目を輝かせながら思い思いに楽しんでいました。私も境内を散策しながら各教区の友人との再会を喜んでいるうちに、あつという間にエンディングの時間を迎えました。帰りの電車でも子どもたちはまだまだ元気でおしゃべりをしていました。一緒に会話に混ぜてもらっていると、「今日は楽しかったよ！またお寺で遊びたい！」と自然に言ってくれて、疲れが吹き飛ばすほどうれしく思いました。「子どものつどい in 東本願寺」とおして、素晴らしいご縁を結べたことに感謝しています。

【お知らせ】『カルト問題学習の手引き』を発行いたしました！

青少幼年センターではこのたび、カルト問題について真宗の視点から学びを深めるための『カルト問題学習の手引き』を新たに作成いたしました。

昨今カルト性の高い団体の活動による被害が後を絶たない状況のなか、青少幼年センターでは、カルト問題に関する相談窓口を開設すると共に、教区や関係学校での学習会を開催しております。

また、カルト問題についての啓発と予防を目的としたリーフレットも数種類ご用意しております。詳しくは [東本願寺](#) [青少幼年センター](#) [検索](#) [Click](#) まで



さまざまな機会にリーフレットをご活用いただき、カルト問題に対する注意を喚起いただきたくお願い申し上げます。手引き・リーフレットは必要部数を無償にてお送りいたします。

ご希望の方は、青少幼年センターまでお問い合わせ下さい。
電話 075-354-3440

(金沢教区青少幼年教化小委員会幹事 池崎朋樹)